

久慈圏域がひとつの保険者に

# 種市町が新規加入

平成十二年度から始まった介護保険制度を円滑かつ広域的に処理するため、平成十二年九月五日に久慈市、野田村、山形村、大野村、普代村の五市村で設立した久慈広域連合にこのほど種市町が加入しました。介護保険事業の共同運営は平成十五年度からとなりますが、現在、介護保険事業計画の策定や加入に伴う作業などの業務を進めています。

## 十月四日に県が許可

久慈広域連合は平成十二年九月五日に設立し、これまで五市村で介護保険事業を運営してきました。

発足当初から種市町の加入について様々な協議検討を重ねて



久慈市役所分庁舎3階にある久慈広域連合事務局

きましたが、種市町から加入の申し入れがあり、関係市町村議会の議決を経て、十月四日に県から正式に許可されました。種市町の加入については、平成十三年二月に設置された久慈地方振興局と久慈管内の市町村で構成される久慈広域生活圏のあり方研究会（全体会座長・久慈地方振興局長）などで検討が重ねられた結果、久慈広域連合への加入となりました。今年度は介護サービスの見込み量や介護保険料を設定する第二期介護保険事業計画の策定のほか、種市町の加入に伴う事務手続きや介護保険電算システムの整備に向けた作業を行っています。実際に介護保険業務を行うのは来年四月一日からとなります。

## 種市町三議員を選出

種市町の加入により、副広域連合長に関根重男種市町長が加わりました。また広域連合議会議員も新たに三人が種市町議会から選出され十六人となりました。

顔ぶれ（敬称略）



議席番号14  
な し りょういちろう  
梨 子 正 一 郎  
(種市町議会)



議席番号15  
く ぼ た まさ はる  
久 保 田 正 治  
(種市町議会)



議席番号16  
は ら し な い たつ み  
原 子 内 辰 巳  
(種市町議会)

十月二十一日には新体制で広域連合議会定例会が開かれ、専決処分（補正予算）の承認及び平成十三年度決算の認定、一般会計及び介護保険特別会計の補正予算が議決されました。補正予算の主なものとしては、種市町加入に伴う電算システム改修費と高額介護給付費の増による補正予算の計上となっています。

## 認定審査会も連合で

種市町の加入により、これまで久慈地区広域行政事務組合で行っていた介護認定審査会業務が久慈広域連合に移管され、介

護保険業務が統一されることになりました。

実際の業務開始は平成十五年四月一日からとなりますが、利用者の皆さんの手続きはこれまでと変わりません。



現在介護認定審査会は久慈地区広域行政事務組合で行われています

## 種市町の皆さん

# 四月から介護保険証が変わります

四月から種市町の介護保険業務を久慈広域連合で行うことになるため、四月までに新しい介護保険証を郵送します。四月からは種市町で発行していた介護保険証は使えなくなり、ご注意ください。ほかにも介護保険にかかる書類などが、久慈広域連合から発行されますので、お手元に

